

研修便り



研修部
平成30年
6月15日
vol.3

特支フロ指導案検討

先日の研修、お疲れ様でした。全校研Iを行う森先生の指導案をもとに、各グループから意見や質問などを出し合いながら検討を行いました。ぜひ話し合われた内容や指導案を参考に、ご自身の指導にも生かしていただければと思います。

4人の児童に対する指導案

3 本時の学習

(1) 本時の目標
既習の考え方をもち、4桁-4桁の筆算のしかたを理解している。【数量や図形についての知識・理解】

(2) 本時の評価
◇評価規準の具体(評価方法～観察・発言)
【数量や図形についての知識・理解】
十分に満足できる：既習の考え方をもち、4桁-4桁の筆算のしかたを説明できている。
おおむね満足できる：既習の考え方をもち、4桁-4桁の筆算の計算ができる。
努力を要する児童への指導
→4桁-3桁の筆算のしかたを説明する。

(3) 本時の展開(11時間扱い 10時間目)

学習活動	形態	※留意点 ◇評価規準【評価方法】
1. マネーゲームを全体で行う	全体	
2. お金を数える ・マネーゲームで得たお金を「お買い物帳」に記入する。 ・おこづかいとしてお金を与え、持っているお金を数える。 ・「欲しい物リスト」の金額を見して、合計を出す。	個人	授業作りの視点① →生活に結びつけ、学習意欲を高める
3. 課題を立てる	個人	授業作りの視点① →学習のゴールを明確にする →解決の見通しを持つために具体物を用いて課題を把握する ※4桁-4桁の筆算にたつまずいた場合は、4桁-3桁の筆算のしかたを確認する。
4. 筆算のしかたを個人で考える ・ワークシートを用いて筆算で引く方法を考える。	個人	授業作りの視点② →解決につながる既習事項の定着 ※既習事項を想起できるまで前時までの学習を定着させる。 授業作りの視点③ →自分の考えを筋道を立てて、相手に伝える
5. 教師との交流を行う ・どのように筆算を進めているかの考えの整理を行う。	個人	授業作りの視点④ →既習の考え方をもち、4桁-4桁の筆算のしかたを理解している。 ※板書は行わず、口頭でまとめる。
6. 4桁-4桁の筆算のしかたをまとめる	個人	
7. 生活単元学習の活動と関連付ける ・今までの活動が正しいか実際に買う人・売る人・電卓を用いて計算する人に分かれて実演する。	グループ	※ロールプレイングとして行う 算教以外の君熟は?
8. 本時の学習を振り返る ・それぞれの学習について、教師からの評価を聞き、学習したことを交流したり、互いのがんばりに気付いたりする。 ・自分のがんばったことや、できるようになったことを発表する。	全体	※本時の学習内容や活動を価値付け、生かしてみようという意欲を持つことができるよう、評価する。 授業作りの視点⑤ →学習の成果・課題を言葉で表現する

Handwritten notes:
 - 2桁数-2桁数は定着?
 - 理解は?
 - 時間配分...
 - 前時...
 - 4桁-4桁の筆算にチャレンジ
 - 具体物 何回くささるか
 - おこづかい大切!
 - 目通し
 - 確認
 - 型はぬ!
 - 具体的に!
 - 前時...
 - 筆算
 - 金の継ぎりを明確に
 - お金とからめて
 - 終わらな子の指導

